

平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 5 日

上場会社名 株式会社ディースリー 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 4311 URL <http://www.d3i.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 裕二 TEL (03)5428-8830
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小寺 健治

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	8,648	13.8	△329	—	△464	—	△706	—
19年3月期第3四半期	7,600	—	276	—	340	—	26	—
19年3月期	9,784	—	542	—	594	—	147	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	△33,670	54	—	—
19年3月期第3四半期	1,244	60	1,233	62
19年3月期	7,039	77	6,978	54

(注) 1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期は、1 株当たり四半期純損失が計上されているため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益は記載しておりません。

2. 平成 18 年 3 月期は決算期変更により 5 ヶ月決算 (平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日) となっておりますので、平成 19 年 3 月期第 3 四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
20年3月期第3四半期	11,058	—	3,344	—	29.9	157,670	60	
19年3月期第3四半期	8,895	—	3,888	—	43.6	185,171	34	
19年3月期	8,804	—	4,019	—	45.5	190,887	71	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	円	百万円	円	百万円	円	百万円	円
20年3月期第3四半期	△2,791	—	△399	—	2,338	—	1,837	—
19年3月期第3四半期	△1,494	—	△12	—	2,855	—	2,659	—
19年3月期	△1,166	—	△16	—	2,572	—	2,694	—

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

平成 19 年 5 月 8 日に公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 1社（社名 Vicious Cycle Software, Inc.） : 有
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

（注）詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におけるゲームソフトウェア業界におきましては、コンシューマゲームの分野では、携帯型ハードの普及がより一層進み、据置型ハードにつきましても、新旧交代がある中で堅調に市場が拡大したことにより、ソフト市場も引き続き順調に推移いたしました。

また、モバイルゲームの分野では、携帯電話端末の機能が進化するとともに、新たな購入方法が開始されるなどの料金体系の多様化も進むなど、携帯電話利用のインフラが一層整備されるのに伴い、ゲームコンテンツの高機能化が進みましたが、これにより携帯電話端末用ゲームコンテンツに対するユーザーの嗜好も多様化しており、競争は一層激しくなっております。

このような状況のもとで、当社グループの当第 3 四半期の業績は、北米での売上が伸長したことにより連結売上高は 8,648,984 千円（前年同期比 13.8%増）となりました。利益面につきましては在外子会社の事業への先行投資による営業損失を、国内子会社の営業収益でカバーするに至らず、営業損失 329,704 千円（前年同四半期は営業利益 276,237 千円）、経常損失 464,415 千円（前年同四半期は経常利益 340,573 千円）、四半期純損失 706,613 千円（前年同四半期は四半期純利益 26,096 千円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、四半期財務・業績の概況の開示において、当連結会計年度がセグメント情報の作成初年度であるため、対前年同四半期増減率の記載はしておりません。（以下同じ。）

[コンシューマ事業]

国内では、主力商品であるライトユーザー向け低価格ゲームソフト「SIMPLE シリーズ」17 タイトル（当第 3 四半期累計で 33 タイトル）を発売するとともに、フルプライスゲームソフトとして、『はじめの一步～PORTABLE VICTORIOUS SPIRITS～』他 4 タイトル（当第 3 四半期累計で 12 タイトル）を発売いたしました。

海外では、北米及び欧州において『Ben 10～Protector of Earth～』を発売いたしました。また、北米においては、『NARUTO～Clash of Ninja Revolution～』、『NARUTO～Path of the Ninja～』などを発売し、欧州においては引き続き北米及び日本から供給されたタイトルの販売に注力いたしました。

この結果、当第 3 四半期におけるコンシューマゲームソフトの販売実績は 185 万本（当第 3 四半期累計で 328 万本）となり、売上高 7,934,697 千円となりましたが、営業費用をカバーするに至らず、営業損失 652,040 千円となりました。

[モバイル事業]

ライトユーザー向け低価格ゲームコンテンツ「SIMPLE100 シリーズ」（月額課金制）では、携帯電話端末の最新機能である音声入力対応ゲームコンテンツ『THE 直感吹き矢』『THE 直感おしゃべり 答えて単語』等の配信を行うなど、継続的なコンテンツの充実を図ってまいりました。この結果、当第 3 四半期末における会員数がモバイル事業全体で 115 万人となりました。特にコンテンツのラインナップが充実した事などにより、KDDI 株式会社の「EZweb」及びソフトバンクモバイル株式会社の「Yahoo! ケータイ」向けに配信しております「SIMPLE100 シリーズ」は、好調に会員数を伸ばしております。

リッチゲームコンテンツ「SIMPLE500 シリーズ」（ダウンロード課金制）は、コンテンツのラインナップの見直しによる一層の集客力の強化を目的として「SIMPLE シリーズ DX」（ダウンロード課金制）にサイト名称を変更し、引き続きコンテンツを配信してまいりました。

この結果、売上高 714,286 千円、営業利益 511,682 千円となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

[日本]

コンシューマ事業におきましては、低価格ゲームソフト「SIMPLE シリーズ」は、主に「ニンテンドーDS」向けに商品展開を行うとともに、新たに「SIMPLE Wii シリーズ」として「Wii」向けに商品展開を開始いたしました。フルプライスゲームソフトでは、『はじめの一步～PORTABLE VICTORIOUS SPIRITS～』、『K-1 WORLD GP 絶対王者育成計画』などの発売を行い、当第 3 四半期における国内販売実績は 38 万本（当第 3 四半期累計 102 万本）となりました。

モバイル事業におきましては、「SIMPLE100 シリーズ」の会員数は 3 キャリア合計で 113 万人となりました。

この結果、売上高 4,092,628 千円、営業利益 306,060 千円となりました。

[北米]

新作として「Wii」向けの『NARUTO～Clash of Ninja Revolution～』、「ニンテンドーDS」向けの『NARUTO～Path of the Ninja～』などフルプライスゲームソフトを 6 タイトル（当第 3 四半期累計 11 タイトル）発売し、当第 3 四半期に 114 万本（当第 3 四半期累計 178 万本）を超える出荷をいたしました。特に販売が堅調な「NARUTO」シリーズはシリーズ合計で当第 3 四半期に 49 万本（当第 3 四半期累計 84 万本）を出荷いたしました。また、『Ben 10～Protector of Earth～』の販売も好調で 46 万本を超える出荷実績を記録いたしました。

この結果、売上高は 4,819,419 千円となりましたが、営業費用をカバーするに至らず、営業損失 179,214 千円となりました。

[欧州]

欧州におきましても、『Ben 10～Protector of Earth～』を発売し、好調な販売となり 20 万本を超える出荷をいたしました。

この結果、売上高は 789,602 千円となりましたが、営業費用をカバーするに至らず、営業損失 218,885 千円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第 3 四半期末における資産の合計は、11,058,067 千円となり、前連結会計年度末に比べ 2,253,253 千円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が 801,668 千円減少したものの、売掛金が 1,423,607 千円、たな卸資産が 834,385 千円増加したことなどによるものであります。

当第 3 四半期末における負債の合計は、7,714,064 千円となり、前連結会計年度末に比べ 2,928,836 千円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金が 2,971,000 千円、買掛金が 653,531 千円増加したことなどによるものであります。

当第 3 四半期末における純資産の合計は、3,344,002 千円となり、前連結会計年度末に比べ 675,583 千円の減少となりました。その主な要因は、利益剰余金が 719,198 千円減少したことなどによるものであります。また、純資産から新株予約権を差引いた自己資本は 3,311,870 千円で、自己資本比率は 29.9%となっております。

なお、詳細な純資産の状況につきましては「4. (要約) 四半期連結財務諸表 (3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書」をご覧ください。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は1,837,411千円となり、前連結会計年度末に比べ857,140千円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果使用した資金は、2,791,166千円となりました。これは、仕入債務の増加702,257千円などがありましたが、売上債権の増加1,463,446千円、たな卸資産の増加840,025千円、法人税等の支払額979,594千円などがあつたことによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果使用した資金は、399,775千円となりました。これは新規連結子会社の取得による支出289,512千円などがあつたことによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果得られた資金は、2,338,558千円となりました。これは長期借入金の返済による支出567,997千円などがありましたが、短期借入金の純増額2,971,000千円などがあつたことによるものであります。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 1社（社名 Vicious Cycle Software, Inc.）

平成19年6月20日付で当社子会社であるD3Publisher of America, Inc. が Vicious Cycle Software, Inc. の株式を100%取得し、D3Publisher of America, Inc. の子会社（当社の孫会社）となりました。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計算等につきましては、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（重要な減価償却資産の減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は軽微であるため、当該箇所への記載は省略しております。

（追加情報）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は軽微であるため、当該箇所への記載は省略しております。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)	当四半期末 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成 19 年 3 月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	2,659,970	1,974,273	△685,697	△25.8	2,775,941
2. 売掛金	2,410,611	3,092,153	681,541	28.3	1,668,546
3. たな卸資産	2,453,976	3,351,624	897,647	36.6	2,517,238
4. 前渡金	342,167	789,233	447,065	130.7	595,487
5. 繰延税金資産	221,101	718,913	497,812	225.2	615,462
6. その他	119,204	83,848	△35,355	△29.7	57,508
7. 貸倒引当金	△1,719	△1,719	—	—	△1,719
流動資産合計	8,205,312	10,008,326	1,803,014	22.0	8,228,464
II 固定資産					
1. 有形固定資産	128,666	197,991	69,325	53.9	131,822
2. 無形固定資産					
(1) のれん	129,866	429,303	299,437	230.6	118,407
(2) その他	25,222	175,903	150,681	597.4	35,606
無形固定資産合計	155,088	605,207	450,119	290.2	154,014
3. 投資その他の資産	407,187	250,433	△156,754	△38.5	295,188
貸倒引当金	△784	△3,891	△3,107	396.3	△4,675
投資その他の資産合計	406,403	246,541	△159,862	△39.3	290,512
固定資産合計	690,158	1,049,740	359,582	52.1	576,348
資産合計	8,895,470	11,058,067	2,162,596	24.3	8,804,813

(株)ディースリー (4311) 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)	当四半期末 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成 19 年 3 月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 買掛金	693,718	1,276,067	582,348	83.9	622,535
2. 短期借入金	1,400,000	4,371,000	2,971,000	212.2	1,400,000
3. 1年以内返済予定長期借入金	770,664	684,000	△86,664	△11.2	753,997
4. その他	932,168	670,309	△261,859	△28.1	983,462
流動負債合計	3,796,551	7,001,376	3,204,825	84.4	3,759,994
II 固定負債					
1. 長期借入金	1,190,000	506,000	△684,000	△57.5	1,004,000
2. 退職給付引当金	20,067	25,861	5,793	28.9	21,232
3. その他	—	180,826	180,826	—	—
固定負債合計	1,210,067	712,687	△497,380	△41.1	1,025,232
負債合計	5,006,619	7,714,064	2,707,445	54.1	4,785,227
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	1,733,485	1,737,864	4,379	0.3	1,733,989
2. 資本剰余金	1,615,821	1,620,200	4,379	0.3	1,616,325
3. 利益剰余金	513,070	△84,610	△597,681	—	634,587
4. 自己株式	△5,010	△5,010	—	—	△5,010
株主資本合計	3,857,365	3,268,443	△588,921	△15.3	3,979,891
II 評価・換算差額等					
為替換算調整勘定	25,307	43,426	18,119	71.6	23,786
評価・換算差額等合計	25,307	43,426	18,119	71.6	23,786
III 新株予約権	6,178	32,131	25,953	420.1	15,907
純資産合計	3,888,851	3,344,002	△544,848	△14.0	4,019,586
負債、純資産合計	8,895,470	11,058,067	2,162,596	24.3	8,804,813

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)	増減		(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	7,600,379	8,648,984	1,048,604	13.8	9,784,224
II 売上原価	5,281,457	6,303,816	1,022,358	19.4	6,632,978
売上総利益	2,318,921	2,345,167	26,246	1.1	3,151,246
III 販売費及び一般管理費	2,042,683	2,674,872	632,188	30.9	2,608,894
営業利益又は営業損失 (△)	276,237	△329,704	△605,942	—	542,352
IV 営業外収益	96,482	24,296	△72,186	△74.8	97,326
V 営業外費用	32,147	159,008	126,860	394.6	45,324
経常利益又は経常損失 (△)	340,573	△464,415	△804,989	—	594,354
VI 特別利益	535	2,290	1,754	327.7	535
VII 特別損失	32,045	14,419	△17,625	△55.0	34,120
税金等調整前四半期 (当期) 純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	309,063	△476,544	△785,608	—	560,769
税金費用	283,296	229,794	△53,502	△18.9	413,540
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△329	274	604	—	△384
四半期(当期) 純利益 又は四半期純損失 (△)	26,096	△706,613	△732,710	—	147,613

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
平成 18 年 3 月 31 日 残高	1,733,485	1,615,821	495,360	△5,010	3,839,656	13,879	—	554	3,854,089
当四半期中の変動額									
剰余金の配当(注)			△8,387		△8,387				△8,387
四半期純利益			26,096		26,096				26,096
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)						11,427	6,178	△554	17,051
当四半期中の変動額 合計	—	—	17,709	—	17,709	11,427	6,178	△554	34,761
平成 18 年 12 月 31 日 残高	1,733,485	1,615,821	513,070	△5,010	3,857,365	25,307	6,178	—	3,888,851

(注) 平成 18 年 6 月の定時株主総会における利益処分項目であります。

当四半期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成 19 年 3 月 31 日 残高	1,733,989	1,616,325	634,587	△5,010	3,979,891	23,786	15,907	4,019,586
当四半期中の変動額								
新株の発行	3,875	3,875			7,750			7,750
剰余金の配当			△12,584		△12,584			△12,584
四半期純損失			△706,613		△706,613			△706,613
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)						19,640	16,224	35,864
当四半期中の変動額 合計	3,875	3,875	△719,198	—	△711,448	19,640	16,224	△675,583
平成 19 年 12 月 31 日 残高	1,737,864	1,620,200	△84,610	△5,010	3,268,443	43,426	32,131	3,344,002

(参考) 前期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位: 千円)

	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
平成 18 年 3 月 31 日 残高	1,733,485	1,615,821	495,360	△5,010	3,839,656	13,879	—	554	3,854,089
連結会計年度中の 変動額									
新株の発行	504	504			1,009				1,009
剰余金の配当(注)			△8,387		△8,387				△8,387
当期純利益			147,613		147,613				147,613
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の 変動額(純額)						9,907	15,907	△554	25,260
連結会計年度中の 変動額合計	504	504	139,226	—	140,235	9,907	15,907	△554	165,496
平成 19 年 3 月 31 日 残高	1,733,989	1,616,325	634,587	△5,010	3,979,891	23,786	15,907	—	4,019,586

(注) 平成 18 年 6 月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)	(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	309,063	△476,544	560,769
減価償却費	99,094	61,827	85,982
のれん償却額	34,376	53,296	45,835
株式交付費	—	215	64
退職給付引当金の増加額	2,125	4,628	3,290
貸倒引当金の増減額(減少：△)	△2,783	△784	1,108
受取利息及び受取配当金	△6,017	△17,768	△15,716
支払利息	23,205	49,815	36,167
為替差損益(差益：△)	△76,800	90,261	△23,239
定期預金解約損	6,918	—	6,918
売上債権の増加額	△1,317,409	△1,463,446	△645,639
たな卸資産の増加額	△1,215,001	△840,025	△1,285,051
前渡金の増減額(増加：△)	269,978	△213,110	19,800
仕入債務の増加額	209,334	702,257	155,115
未払金の増減額(減少：△)	201,699	275,976	△74,845
その他	101,464	△15,431	106,459
小計	△1,360,750	△1,788,832	△1,022,982
利息及び配当金の受取額	6,029	17,823	15,916
利息の支払額	△25,442	△40,563	△38,530
法人税等の支払額	△114,495	△979,594	△121,096
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,494,658	△2,791,166	△1,166,692
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金解約による収入	93,081	—	93,081
新規連結子会社の取得による支出	—	△289,512	—
有形固定資産の取得による支出	△61,931	△87,198	△76,566
無形固定資産の取得による支出	△36,141	△24,980	△22,961
貸付けによる支出	△20,000	△7,000	△20,000
貸付金の回収による収入	21,082	6,615	21,449
その他	△8,599	2,300	△11,567
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,508	△399,775	△16,565
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増額	1,100,000	2,971,000	1,100,000
長期借入れによる収入	2,000,000	—	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△236,001	△567,997	△438,668
担保の提供による支出	—	△59,534	△81,390
株式の発行による収入	—	7,534	944
配当金の支払額	△8,359	△12,444	△8,385
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,855,636	2,338,558	2,572,501
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	36,287	△4,757	30,097
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	1,384,760	△857,140	1,419,340
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,275,210	2,694,551	1,275,210
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,659,970	1,837,411	2,694,551

(5) セグメント情報

(注) 四半期財務・業績の概況の開示において、当連結会計年度がセグメント情報の作成初年度であるため、前年同四半期（平成 19 年 3 月期第 3 四半期）の記載はしていません。

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期（平成 20 年 3 月期第 3 四半期）

	コンシューマ事業 (千円)	モバイル事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,934,697	714,286	8,648,984	—	8,648,984
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,934,697	714,286	8,648,984	—	8,648,984
営業費用	8,586,738	202,603	8,789,342	189,346	8,978,688
営業利益（又は営業損失）	(652,040)	511,682	(140,357)	(189,346)	(329,704)

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
コンシューマ事業	家庭用ゲームソフト等のパッケージソフト等
モバイル事業	携帯電話用コンテンツ等

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は 189,346 千円であり、その主なものは、当社の管理部門に係る費用であります。

(参考) 前期（平成 19 年 3 月期）

	コンシューマ事業 (千円)	モバイル事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,121,497	662,727	9,784,224	—	9,784,224
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,121,497	662,727	9,784,224	—	9,784,224
営業費用	8,860,528	155,079	9,015,608	226,263	9,241,872
営業利益	260,968	507,647	768,616	(226,263)	542,352

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
コンシューマ事業	家庭用ゲームソフト等のパッケージソフト等
モバイル事業	携帯電話用コンテンツ等

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は 226,263 千円であり、その主なものは、当社の管理部門に係る費用であります。

4. 会計方針の変更

当連結会計年度より「ストック・オプション等に関する会計基準」（企業会計基準第 8 号 平成 17 年 12 月 27 日）及び「ストック・オプション等に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 11 号 平成 18 年 5 月 31 日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「コンシューマ事業」で 11,436 千円、「モバイル事業」で 918 千円及び「消去又は全社」で 3,523 千円、それぞれ営業費用が増加し、営業利益がそれぞれ同額減少しております。

[所在地別セグメント情報]

当四半期 (平成 20 年 3 月期第 3 四半期)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,307,278	4,552,103	789,602	8,648,984	—	8,648,984
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	785,349	267,315	—	1,052,665	(1,052,665)	—
計	4,092,628	4,819,419	789,602	9,701,649	(1,052,665)	8,648,984
営業費用	3,786,567	4,998,633	1,008,488	9,793,689	(815,001)	8,978,688
営業利益 (又は営業損失)	306,060	(179,214)	(218,885)	(92,039)	(237,664)	(329,704)

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 北米：米国
 (2) 欧州：イタリア、英国
 3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は 189,346 千円であり、その主なものは、当社の管理部門に係る費用であります。

(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,122,474	4,415,487	1,246,262	9,784,224	—	9,784,224
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	643,186	26,608	—	669,795	(669,795)	—
計	4,765,661	4,442,095	1,246,262	10,454,020	(669,795)	9,784,224
営業費用	3,861,883	4,658,151	1,157,674	9,677,709	(435,837)	9,241,872
営業利益 (又は営業損失)	903,777	(216,055)	88,587	776,310	(233,957)	542,352

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 北米：米国
 (2) 欧州：イタリア、英国
 3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は 226,263 千円であり、その主なものは、当社の管理部門に係る費用であります。
 4. 会計方針の変更

当連結会計年度より「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準第 8 号 平成 17 年 12 月 27 日) 及び「ストック・オプション等に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 11 号 平成 18 年 5 月 31 日) を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「日本」で 3,095 千円、「北米」で 8,884 千円、「欧州」で 374 千円及び「消去又は全社」で 3,523 千円、それぞれ営業費用が増加し、営業利益がそれぞれ同額減少しております。

〔海外売上高〕

当四半期（平成20年3月期第3四半期）

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	4,609,132	791,368	14,202	5,414,703
II 連結売上高（千円）				8,648,984
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	53.3	9.1	0.2	62.6

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

（1）北米：米国

（2）欧州：イタリア、英国他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（参考）前期（平成19年3月期）

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	4,662,706	1,249,289	7,790	5,919,786
II 連結売上高（千円）				9,784,224
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	47.6	12.8	0.1	60.5

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

（1）北米：米国

（2）欧州：イタリア、英国他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 補足資料】

・フルプライス 販売本数

(単位：千本)

販売地域	通期予算	平成 20 年 3 月期 第 3 四半期	進捗率 (%)
日本	681	436	64.1
北米	2,569	1,780	69.3
欧州	572	396	69.2
合計	3,823	2,613	68.3

・低価格ソフト 販売本数

(単位：千本)

販売地域	通期予算	平成 20 年 3 月期 第 3 四半期	進捗率 (%)
日本	1,052	583	55.4
北米	—	—	—
欧州	136	91	67.2
合計	1,188	675	56.8

・フルプライス・低価格ソフト 合計販売本数

(単位：千本)

販売地域	通期予算	平成 20 年 3 月期 第 3 四半期	進捗率 (%)
日本	1,734	1,020	58.8
北米	2,569	1,780	69.3
欧州	708	487	68.8
合計	5,011	3,288	65.6

・販売本数上位タイトルの実績 (平成 20 年 3 月期第 3 四半期)

タイトル名	販売地域	販売本数 (千本)
NARUTO シリーズ	北米	847
Ben 10～Protector of Earth～	北米・欧州	670
Puzzle Quest～Challenge of the Warlords～ (日本語表記：THE パズルクエスト～アガリアの騎士～)	日本・北米・欧州	241